

## 第 197 回価格審査委員会議事要旨

開催日時、場所	2020 年 3 月 17 日（火）午後 3 時 10 分～4 時 35 分 経済調査会会議室
出席委員	小路直彦、土屋貴裕、笛田俊治（委員長代理）（五十音順）

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果																								
<p>1. 前回議事概要の確認</p> <p>2. 「積算資料」4月号土木系資材の価格変動の妥当性について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事概要案が承認された。</li> <li>・ 審査対象資材のうち、4月号で掲載価格に変動が生じる土木系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</li> </ul> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; width: 30%; font-weight: normal;">&lt;品目&gt;</th> <th style="text-align: center; width: 20%; font-weight: normal;">[地区]</th> <th style="text-align: center; width: 50%; font-weight: normal;">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="padding-top: 10px;"><b>【上伸した資材】</b></td> </tr> <tr> <td>セメント</td> <td style="text-align: center;">甲府</td> <td>メーカーが一昨年4月より打ち出した値上げの交渉が遅れていた甲府地区で、生コン市況改善を受けメーカーが売り腰を強めた結果、需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td style="text-align: center;">水戸</td> <td>組合が一昨年打ち出した値上げの積み残し分について、員外社の組合加入と次年度に発電所向け大型需要が見込まれることから、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>クラッシュラン</td> <td style="text-align: center;">長野</td> <td>出荷量減少による経費率の上昇を理由に砕石組合は昨年7月より値上げを打ち出す。台風被害で需要が回復する中、組合以外からの調達が困難な需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>再生クラッシュラン</td> <td style="text-align: center;">長野</td> <td>出荷量減少による経費率の上昇を理由に砕石組合は昨年7月より値上げを打ち出す。域内のコンクリート廃材の発生量は少なく、員外社からだけでは調達が困難なことから、需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>自由勾配側溝 RCボックスカルバート</td> <td style="text-align: center;">金沢</td> <td>原材料、運搬コスト等増加を理由にメーカーは昨年3月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、セメント等原材料費の更なる上昇からメーカー側が売り腰を強め、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>コンクリート積み ブロック</td> <td style="text-align: center;">前橋</td> <td>原材料、運搬コスト等増加を理由にメーカーは一昨年4月に値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、昨年の台風被害で需要が急増。安定供給を優先する需要者が受け入れ、市況上伸。</td> </tr> </tbody> </table>	<品目>	[地区]	(理由)	<b>【上伸した資材】</b>			セメント	甲府	メーカーが一昨年4月より打ち出した値上げの交渉が遅れていた甲府地区で、生コン市況改善を受けメーカーが売り腰を強めた結果、需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。	生コンクリート	水戸	組合が一昨年打ち出した値上げの積み残し分について、員外社の組合加入と次年度に発電所向け大型需要が見込まれることから、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。	クラッシュラン	長野	出荷量減少による経費率の上昇を理由に砕石組合は昨年7月より値上げを打ち出す。台風被害で需要が回復する中、組合以外からの調達が困難な需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。	再生クラッシュラン	長野	出荷量減少による経費率の上昇を理由に砕石組合は昨年7月より値上げを打ち出す。域内のコンクリート廃材の発生量は少なく、員外社からだけでは調達が困難なことから、需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。	自由勾配側溝 RCボックスカルバート	金沢	原材料、運搬コスト等増加を理由にメーカーは昨年3月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、セメント等原材料費の更なる上昇からメーカー側が売り腰を強め、市況上伸。	コンクリート積み ブロック	前橋	原材料、運搬コスト等増加を理由にメーカーは一昨年4月に値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、昨年の台風被害で需要が急増。安定供給を優先する需要者が受け入れ、市況上伸。
<品目>	[地区]	(理由)																							
<b>【上伸した資材】</b>																									
セメント	甲府	メーカーが一昨年4月より打ち出した値上げの交渉が遅れていた甲府地区で、生コン市況改善を受けメーカーが売り腰を強めた結果、需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。																							
生コンクリート	水戸	組合が一昨年打ち出した値上げの積み残し分について、員外社の組合加入と次年度に発電所向け大型需要が見込まれることから、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。																							
クラッシュラン	長野	出荷量減少による経費率の上昇を理由に砕石組合は昨年7月より値上げを打ち出す。台風被害で需要が回復する中、組合以外からの調達が困難な需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。																							
再生クラッシュラン	長野	出荷量減少による経費率の上昇を理由に砕石組合は昨年7月より値上げを打ち出す。域内のコンクリート廃材の発生量は少なく、員外社からだけでは調達が困難なことから、需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。																							
自由勾配側溝 RCボックスカルバート	金沢	原材料、運搬コスト等増加を理由にメーカーは昨年3月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、セメント等原材料費の更なる上昇からメーカー側が売り腰を強め、市況上伸。																							
コンクリート積み ブロック	前橋	原材料、運搬コスト等増加を理由にメーカーは一昨年4月に値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、昨年の台風被害で需要が急増。安定供給を優先する需要者が受け入れ、市況上伸。																							

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果		
	コンクリート積み ブロック	大分	平成 29 年九州北部豪雨の災害復旧需要が終わりに近づく中、原材料コスト等増加を理由にメーカーは昨年 4 月より値上げを打ち出す。非出水期の下期以降、販売側が売り腰を強めた結果、需要者が受け入れ、市況上伸。
	ネットフェンス	全国	メーカー各社は鋼材・金網価格の上昇、人件費及び運搬費の上昇等を理由に昨年 4 月以降、値上げを打ち出す。旧価格で契約していた物件の出荷が終了し、新価格が浸透して、市況上伸。
	<b>【下落した資材】</b>		
	異形棒鋼	全国（札幌、那覇除く）	新規引き合いが引き続き低調に推移する中、原材料の鉄屑価格は下落が進行。メーカー側は採算重視の販売姿勢だが、需要者の値下げ要求が強まり、北海道、沖縄を除く全国で市況下落。
	H形鋼	全国（札幌除く）	メーカーは生産を縮小しているが、荷動きが鈍く在庫は増加。メーカーの売り腰が軟化したため、流通業者間の競合が拡大し、先月に引き続き、北海道を除く全国で市況下落。
	鉄屑	全国（札幌除く）	需要者である国内電炉メーカーの生産が伸びを欠く中、年度末整理玉の出回りで需給は緩和。国内電炉メーカーは段階的に炉前購入価格を引き下げた。問屋筋も概ね追随し、市況下落。
	再生クラッシュラン	福岡	市街地再開発工事の影響でコンクリート廃材の発生量が増加。一方、路盤材向けの需要は低調で、在庫を豊富に抱える供給側に対し、需要者の値下げ要求が強まった結果、昨年 12 月に引き続き、市況下落。
	軽油	全国	中東産原油価格は新型肺炎の感染拡大への警戒感から続落。製品価格は、元売会社の卸価格引き下げに加え、先安観から数量指向の強い販売会社による売り込みが加速し、市況下落。
	ストレートアスファルト	全国（那覇除く）	ディーラーは道路工事会社との価格改定交渉において、運搬コストと人件費上昇からやや下げ幅を圧縮したものの、1 月下旬から 2 月中旬までの原油価格下落分を反映し、市況下落。

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果									
<p>○新型コロナウイルス感染拡大とそれに伴う金融市場の乱高下が起きているが、建設分野への影響は出ているか。</p> <p>○長野地区の再生クラッシュランの価格が他地区より高いのはなぜか。</p> <p>3. 「積算資料」4月号建築系資材の価格変動の妥当性について</p> <p>○今回の新型コロナウイルスの感染拡大の影響はリーマン・ショック時と比較されることが多いが、リーマン・ショックの時の建設資材はどのような動きで、今回はどのような見通しか。</p> <p>4. 「土木施工単価」春号土木工事費の価格変動の妥当性について</p> <p>○橋梁用伸縮継手装置設置工の聞き取り調査先が1社を除いて東京の業者だが、サンプリングはどのようにしているのか。</p> <p>5. 「建築施工単価」春号建築工事費の価格変動の妥当性について</p> <p>○札幌地区の型枠工事の説明で、季節変動が以前より少なくなったという業者の話があったが、北海道特有の話か全国的な話か。</p> <p>6. その他 (1) 次回開催予定</p>	<p>・工事の中断などの実需には、今のところ大きな影響は見られない。資材関係では、土木系資材には影響は出していないが、建築設備系の資材で、衛生陶器などが中国から調達する部品の納入遅れから製品の供給に影響が出ている。</p> <p>・再生クラッシュランの価格は、需給面と取扱業者数の影響を大きく受けるが、長野地区は他地区と比べ、コンクリート廃材の発生量が少なく需給がひっ迫傾向にある。また、中間処理業者の数も少なく、砕石協同組合による共同販売が流通の中心になっており、他地区より高い市況となっている。</p> <p>・審査対象資材のうち、4月号で掲載価格に変動が生じる建築系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p> <table border="1" data-bbox="638 683 1452 974"> <thead> <tr> <th data-bbox="638 683 845 716">&lt;品目&gt;</th> <th data-bbox="845 683 1085 716">【地区】</th> <th data-bbox="1085 683 1452 716">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="638 728 845 761">【下落した資材】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 761 845 795">電線・ケーブル</td> <td data-bbox="845 761 1085 795">全国</td> <td data-bbox="1085 761 1452 974">3月初旬の国内電気銅建値は、海外銅相場安の影響を受けて前月初旬比4万円下落のt当たり63万円。主原料の銅価に連動して、流通側は卸価格の引き下げを余儀なくされ、全国的に市況下落。</td> </tr> </tbody> </table> <p>・型枠用合板は、リーマン・ショック直後一時的に安値が出たがすぐに戻し、その後の景気後退による工事量減少に伴い市況が下落した。今回も景気動向によっては同じ事態が予想される。鋼材は、リーマン・ショック直前にかなり高騰し、直後に大きく下落した。今回は、新型コロナ前から需要が弱く市況は弱基調で推移していた。新型コロナの要因が加わり長期的な影響も予想される。</p> <p>・審査対象工種のうち、春号で掲載価格に変動が生じる土木工種、都市はなかった。</p> <p>・主に専門工事業者を対象に調査しているが、全国展開していて本社で管理している会社が多く、1社を除き本社が東京であった。</p> <p>・審査対象工種のうち、春号で掲載価格に変動が生じる建築工種、都市はなかった。</p> <p>・北海道特有の話である。北海道では以前、冬場は型枠工事ができず関東地方などに出稼ぎに行くのが通例になっていたが、最近は雪が少なくなった影響もあり、工事量は減るものの冬期も工事が行われるケースが増えている。</p> <p>・2020年4月16日(木)10時~12時と決定。 (※2020年3月27日に次回開催は見合わせることにして通知)</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>	<品目>	【地区】	(理由)	【下落した資材】			電線・ケーブル	全国	3月初旬の国内電気銅建値は、海外銅相場安の影響を受けて前月初旬比4万円下落のt当たり63万円。主原料の銅価に連動して、流通側は卸価格の引き下げを余儀なくされ、全国的に市況下落。
<品目>	【地区】	(理由)								
【下落した資材】										
電線・ケーブル	全国	3月初旬の国内電気銅建値は、海外銅相場安の影響を受けて前月初旬比4万円下落のt当たり63万円。主原料の銅価に連動して、流通側は卸価格の引き下げを余儀なくされ、全国的に市況下落。								

## 価格審査委員会規約

### (目的)

第 1 条 一般財団法人 経済調査会が実施する資材価格及び工事費(以下「資材価格等」という。)の調査結果について、その妥当性を高め調査の信頼性を向上させることを目的として、第三者による価格審査委員会(以下「委員会」という。)を設置するものとする。

### (委員会の事務)

第 2 条 委員会は、理事長の委嘱に基づき、次の事務を行う。

- 一 資材価格等(定期刊行物に掲載するものに限る。以下同じ。)の調査結果の妥当性について審査すること。審査は公共工事において重要度の高い品目、工事費を選定して行うものとする。
- 二 その他資材価格等の調査に関して必要と認められる事項について審議すること。

### (委員会の委員及び任期)

第 3 条 委員は公正中立の立場で審査を適切に行うことのできる学識経験等を有する者のうちから、理事長が委嘱する。

- 2 委員会は、委員 8 人以内で組織する。
- 3 委員の任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。また、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、非常勤とする。

### (委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選任する。

- 2 委員長は、委員会を代表する。
- 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

### (委員会の開催)

第 5 条 委員会は、委員長が招集し、原則として毎月 1 回開催する。

### (審査の報告・助言)

第 6 条 委員会は、第 2 条により審査の対象となった事項に関し、必要に応じて理事長に対し審査結果の報告または助言を行う。

### (意見等の聴取)

第 7 条 委員会は、第 2 条の事務を行うにあたり、必要に応じて委員以外の者から意見等を聴取することができる。

(秘密を守る義務)

第 8 条 委員は第 2 条の事務を処理する上で知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(事務局)

第 9 条 委員会の事務局は、一般財団法人 経済調査会 調査監理部審査室に置く。なお事務局は価格動向、価格変動理由等の資料を委員会に提出するものとする。

附則

この規約は、平成 15 年 11 月 13 日から施行する。

この規約は、平成 16 年 4 月 13 日から改訂施行する。

この規約は、平成 18 年 4 月 13 日から改訂施行する。

この規約は、平成 21 年 4 月 13 日から改訂施行する。

この規約は、平成 24 年 6 月 15 日から改訂施行する。